

「テーブルトーク・ロールプレイングゲームを媒介とした集団療法の理論化の試みと事例研究」

この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることにより行います。参加者の方には集団療法参加時に個別に同意をいただいておりますが、同意を取り下げたい場合及びお問い合わせがある場合は下記までご照会ください。

1 研究目的	テーブルトーク・ロールプレイングゲーム(TRPG)は、近年、発達障害の子どものソーシャルスキルの向上のための活用が注目されつつあります。しかし、その治療モデルや実際の治療場面における具体的な効果については十分明らかになっていません。そこで、本研究では、子どものこころクリニックにおいて実施している「TRPGを媒介とした子どもの集団療法」について、後方視的検討を行い、集団及び参加者の変化を検討し、効果につながる要因を見出すことにより、TRPGを媒介とした集団療法を理論化し、発達障害の子どもへの有効な支援方法を構築することを目的としています。
2 研究実施期間	2025年7月1日～10月31日
3 研究の対象	2022年4月～2025年3月に当院でTRPGグループに参加された方
4 研究の方法	既に保有されている「子どもの活動集団療法」の記録(文書記録)をもとに、TRPGグループ参加者の集団力動の変化及び各参加者個人のコミュニケーションパターンの変化を分析するとともに、治療者の介入方法とその効果の分析を行います。それらの分析結果から、①TRPGを媒介とした集団療法の技法を理論化し、②集団及び参加者の変化から治療効果とその要因を考察します。
5 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、主症状とその経過、TRPGグループへの参加状況や参加時の様子等
6 個人情報の取扱い	収集したデータは、個人情報を厳重に保護し、個人が特定できないように匿名化を行い、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
7 結果の公表について	個人情報を厳重に保護した上で、学会発表および学会誌で公表します。
6 お問い合わせ先	研究責任者: 明治大学子どものこころクリニック 院長 山登 敬之 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 TEL 03-3296-8500

)